

湿潤型創傷被覆材の種類と使い方

一般名	製品名	原理・使い方
ハイドロジェル	ニュージェル ジェリパーム グラニューゲル イントラサイトジェル	80～90%が生理食塩水から成る。滲出液の少ない創に水分を供給して湿潤環境を作る目的で使用する。
ハイドロコロイド	デュオアクティブ コムフィール テガソープ アブソキュアー など	代表的な湿潤型創傷被覆材。親水性コロイド粒子と疎水性ポリマーからなり、親水性コロイド粒子が滲出液を吸収してゲル状になって溶け出すことで、創との間を埋める。親水性コロイド粒子の比率は製品により異なるが、滲出液が多いと外に漏れ出てしまうことがあり注意が必要。
ポリウレタンフォーム	ハイドロサイト	スポンジのようにウレタンのセルに滲出液を吸収し、創の湿潤状態を保つ。滲出液が溜まると外側のセルに移動する。ゲル化しないので操作が簡便で、比較的、滲出液が多い創にも適応がある。
ハイドロポリマー	ティエール	多孔構造を持ち、滲出液を孔に取り込んで吸収する。外側の吸収パッドに水分を溜めて膨らみ、創との隙間を埋めるのが特徴的。
アルギン酸塩	カルトスタット ソープサン など	海藻が原料で、滲出液を吸収してゲル化する。止血作用もあるので出血性の創にも適応がある。
ハイドロファイバー	アクアセル	繊維状の創傷被覆材で、これも滲出液を吸収してゲル化する。滲出液の多い創にも使用できる。
キチン	ベスキチン	カニの甲羅から抽出したムコ多糖体から作られており、滲出液を吸収して膨張する。滲出液があまり多いと使えない。